

洋書輸入協会会報

VOL. 5
NO. 12

(通巻56号) 昭和46年12月

理事会及び懇談会報告

11月10日(水)

理 事 会

- (一) 米国港湾ストの現況及び影響の検討。
……深刻な影響を業界に及ぼしつつある。
- (二) 準会員、賛助会員に関する規約改正案に伴う会費の検討。
- (三) 懇談会の議事進行に関する打ち合わせ。

懇 談 会 於 日本出版クラブ

- (一) 米国港湾ストの状況(丸善・柴田氏)
- (二) Pergamon 社表示通貨の問題(US・山川氏)
- (三) フランクフルト書籍展視察団長報告(東光堂・石内氏)
- (四) 新入会員栗田書店の紹介(緑・丹羽氏)
- (五) その他情報交換。

11月19日(金)

臨時理事会

……情報交換

11月26日(金)

理 事 会

- (一) 通関委員会報告(丸善・柴田氏)
「有効期間内に通関しなかった輸入承認証について」の通知検討。
- (二) 規約改正に関する総会開催の件。
……総務委員会において規約改正案を印刷の上、招集することとする。
- (三) その他情報交換。

洋書学ことはじめ (X)

製本のこと (5) 製本用クロースの略史

八 木 佐 吉

1823年ごろからロンドンの Jones 出版社から Diamond Classics と Diamond Poets という小形本のシリーズが刊行され出した。出版元の広告文に“smallest ever printed”と附記されている程の袖珍本で、実寸は横5.5、縦9~10cmほどの可愛らしい、いわば掌中の玉のような本の集積である。全体で50タイトル位は出版されたと思うが、わたくしが実際に手にしたのは36種である。

製本用クロースの話に、どうしてこのシリーズが出てくるかという、実はこれらの本が出版社製本つまり publisher's binding でクロースを使った最初の本であるといわれているからである。と、いってもこれに使われているのは今のような製本用クロースではなくて、絹である。衣服用かインテリア装飾用としてのシルクで装幀されているのである。

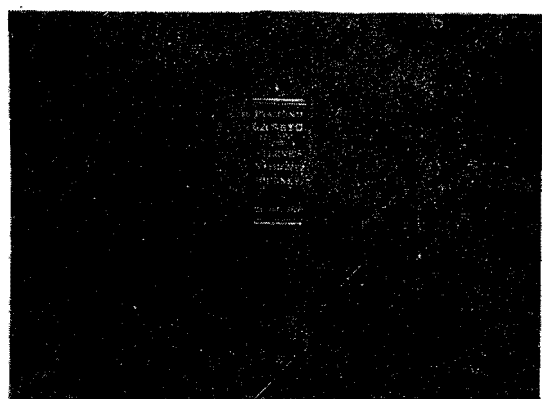
わたくしの実見した製本は絹地の色彩が紫、紺、赤、黄、グレイ、グリーン、ピンク等々と色とりどりの美しさで、地紋も絞りあり、波紋あり、玉虫地もあるといった趣きであった。見返しがまた、表紙の色絹に適応した色紙を使用していて、発行以来150年近く経った色香の褪せはあっても、やはり珠玉の豆本といえる容姿であった。

Diamond Classics の製本の話がやや長くなったが、こ

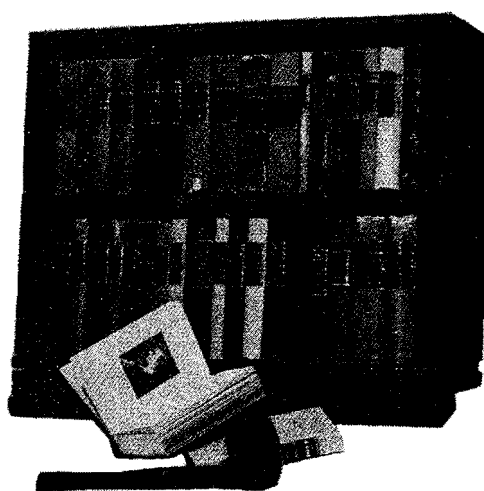
れはヨーロッパの出版物で布表紙製本にエポックを作った事柄であるから大切な一コマなのである。これ以前にも個人趣味の諸製本（モロセイホン）にはベルベット、シルク、サチン、キャリコなどが使われていることを言うをまたない。しかし何といってもこれらの表紙材料はニワカがきかず、はがれ易くといったことで製本の工程に困難が多すぎたので、皮革のように一般的に用いられていなかったのである。

大体の推察では衣服用の布地が書物用として代用されたのは、上記のように趣味の装幀用といった風な使い方、贈呈本や記念図書であって、表紙材料の durability より elegance ぶりをものとめたといつてよいと思う。

しかし、偶然か果然か、このシルク表紙の“ダイヤモンド双書”が出版されたのと、ほとんど時を同じくして1825年にイギリス人 Archibald Leighton が特殊加工の“book-cloth”の一種を創製しているのである。このことは“ダイヤモンド”の刺戟とみるよりは、時代のやむを得ない要求によるブック・クロースの誕生とみるべきであろう。何となれば、その頃は製紙工業も印刷工程も次第に進歩発達し



双書の中 Sterne's Sentimental Journey (原寸×0.55)



Diamond Classics & Poets. (パイプと比較)

て、ヨーロッパ諸国の出版物はようやく量産時代に入りつつあったからである。もっとも何れの場合でも発明には付き物の異説もあり、レイトンのクロース創作より数年前の1820年ごろ何某が製作したという話も物の本にあるが、定説ではなさそうである。

Diamond Classics の出版は1840年近くまで続いているらしい。わたくしが実見した絹地装幀本は1823—1830年の刊記の本であるから、それより以後の出版書には新らしいブック・クロースで製本されたのがあるようにも考えられる。しかし、何としても実際にこの目でたしかめるか、写真ででも見ない限り何ともいえない。

Archibald Leighton の子息 Robert は製本師として名をなした人である。このロバート・レイトンが1849年に広告した trade circular に新製本用クロースの説明がある。“硬い地肌の染色した木綿の布、ニカワなどの糊^{のり}が表に滲み出ない、接着剤によるしめり気で堅さや生地がくずれない、背文字は別に paper label に刷って背に貼りつける”といった意味の記事であるが、大体は現在の製本用クロースの条件を備えているといってよい。ただ背文字など直接の箱押しができなかったのであろう。

上記かような次才で製本用としてのクロースが生れたのは左程の昔ではない。また、そのクロース生産にともなって出版社製本が発達普及してきたのも、僅か百数十年の歴史しかないのである。

さて、わが国のクロース生産の大略も附記しておこう。明治6年ごろ当時のお雇い外人たるイギリス人バターンソン等によって洋式製本術がわが国に導入されてから、間もなく岡上饒正（後年の東京製本同業組合の初代組長）たちによって、いわゆる“洋本仕立”の技術は採り入れられた。この方達の制作本の一つと思われる桑田衡平訳「増訂内科摘要」という明治8年10月出版の角背革・平クロースの立派な洋装本2冊揃いが手許にあるが、その製本技術は真に目をみはるものがある。こうして、漸次に和書出版物が和本仕立から洋書式にと装幀ぶりを変えていった。有名な中村正直の「西国立志編」の活版印刷と洋式製本を引きうけた秀英社（今の大日本印刷）の佐久間貞一が、表紙の芯にする板紙を、苦心の末に国産に成功したのは明治9年後期

のことである。角背革で平が緑色クロースで被われているその一本をわたくしは家蔵しているが、この製本材料の中で当時の国産品はボール（板）紙だけと思うと感慨ふかいものがある。

その後も製本用クロース類はなかなか国産ものが成功しないで、大正年代まで、ひいては昭和の初年ごろまで舶来クロースが優秀性を誇っていた時代が続くのである。しかしその間明治31～2年ごろから先覚者達によって、これが研究され、製造が企図されて、同35年には製造に着手されたといわれている。しかしなかなか所期の成果は得られなかったのであったが、大正5年に始まった第一次世界大戦中の欧米クロースの輸入途絶を経験して、ようやくそれまでの苦心研鑽が実を結んで国産クロースの製造技術は大いに進んだ。そして、第二次大戦前すでに優秀な品質のものを市場に出して外国物をしのぐほどに至っていた。戦中戦後の困難も切り抜けて、今日では世界的に見ても優良なものが製産されていて、多量の出版物の製本に迎え、相当量の輸出もされている頼もしさであることは衆知の事実である。

さて話を本筋に戻そう。大体の定義として、製本用クロース binder's cloth または book cloth とは、織物に書物の表紙用としての条件をみたす特殊加工を施したものの。綿、麻、化繊等の織布地に染つけ、塗装、型付けなどをして仕上げ、普通は裁断しないで長巻きにしてある。

国産のクロースは幅107cm、長さ21mが標準寸法で、本の厚さにもよるが、普通平均にA5判で240～300冊、B6判もので280～330冊と練達の出版人は計算していることをご参考までに附記しておく。材料による区別、品質の高下、仕上げの甲乙などによって普通物とか高級ものに分けられ、名称も異なり、製造会社によっても特殊の銘柄があり、それぞれに個有の名称がつけられていることは内地物欧米品ともに同じようである。さて、国産もののことはここではしばらく措いて、洋書に使われているクロースの種別についてのみ次号で書きあげることとしたい。

（参考：Sadleir, Michael: The Evolution of Publishers' Binding Styles, 1770—1900. London, 1930.）

アメリカ出版界の最近の動向

ハーバー アンド ロウ社副社長 赤 石 正

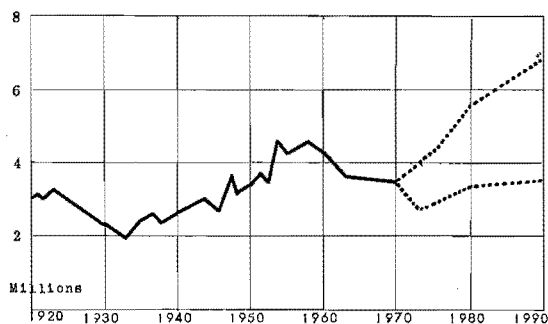
最近の出版傾向を見てみますと、まず出版点数の増加率は、表I Title Output から又、表IIのものからもわかりますように約20%上昇しています。何故20%もの増加点

数があるかは、アメリカの人口の増加率及びその内訳と対比させながら考えてみる必要があると思います。農業、フィクション、文学、宗教、社会学及び経済学、児童書とその率を眼でおってみてください。2,600から3,000への社

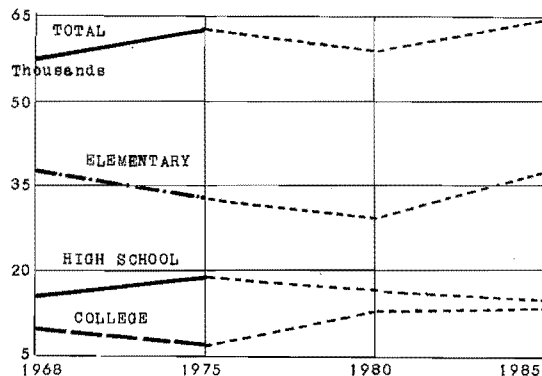
表I TITLE OUTPUT (JAN.-JUNE 1971)

	1970	1971
Agriculture	121	162
Art	559	612
Biography	702	903
Business	318	335
Education	447	674
Fiction	1,673	1,852
General Works	326	453
History	908	1,024
Home Economics	147	235
Juveniles	616	1,097
Language	184	253
Law	252	294
Literature	1,389	1,602
Medicine	626	719
Music	171	209
Philosophy, Psychology	536	740
Poetry, Drama	701	745
Religion	860	765
Science	1,065	1,320
Sociology, Economics	2,657	3,098
Sports, Recreation	383	468
Technology	558	610
Travel	715	827
TOTAL	15,914	18,997

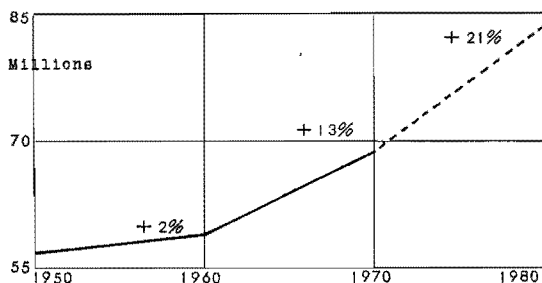
表II-A U. S. BIRTH



表II-B SCHOOL ENROLLMENT

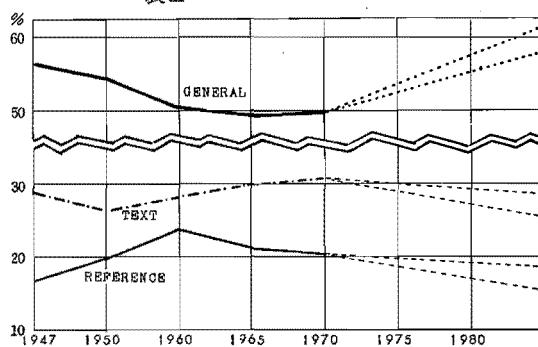


表II-C YOUNG ADULTS

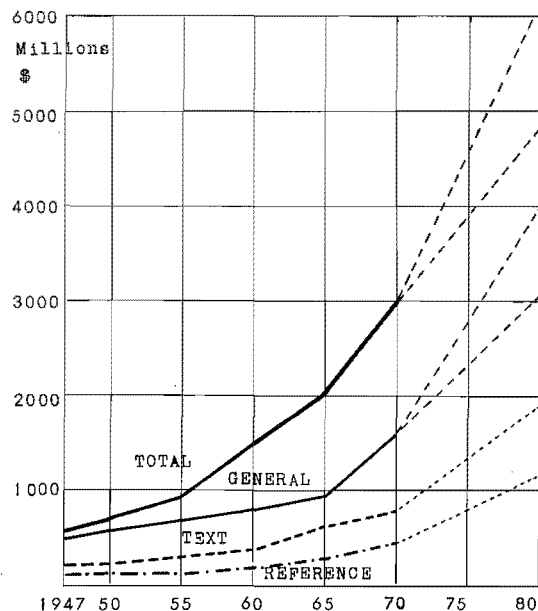


会学及び経済学の増加は、当然のことながら、単に発行しているだけでなく需要があることを意味しています。児童書の増加は、不思議でしょうか。これは児童の成長と同時に政府からの補助金が再び緩和された為、公立図書館が買う枠を増やしたからです。児童書の購入方法は日本と大変異なっていて、まず各家庭で買うことは殆んどありません。夜寝かせつける前の Bedside Story が徹底している為でしょうか、公立図書館から借りるのが当たり前なので、図書館は5〜6回貸し出しをやると又、補充しなければならないことになります。ザットこの American Library Congress Classification の分類別の数字に眼を通した上で、人口との相関から検討してみましょう。表Ⅱ(A-C)は、アメリカの人口がどのように成長するかです。点線が将来をあらわします。才2次世界大戦が終って兵隊たちが続々帰って来てそれぞれ結婚しました。戦後うまれた子供たちの数が余り多くて、大学は学生を収容出来なくなった、二重教授制度などを採用して College Book はこれまで非常に成長しましたが、このブームが過ぎて College Book は今大変ぐらついて来ている。大学生の数は今から3年後ぐらいまでは少しずつ下降し、75年から80年の間で再び増加し、それからは平らになります。高校生の数は、今まで上って来ましたが、これから先、さがるか又は平らになるでしょう。小学生は、今からずーっと下降し続けるでしょう。現在学生である者たちの子供たちが小学校に入りはじめるのが85年ぐらいになりますから、又上昇するでしょう。私達出版社の者はこうしたグラフをみて、何時、何処で教科書に力を入れたらよいかを判断しています。この3つを合計したグラフをみますと、教科書の将来は、当分の間余り高くないように思われます。従って1970年度は一般書が売れるでしょう。こう考えるもう一つの理

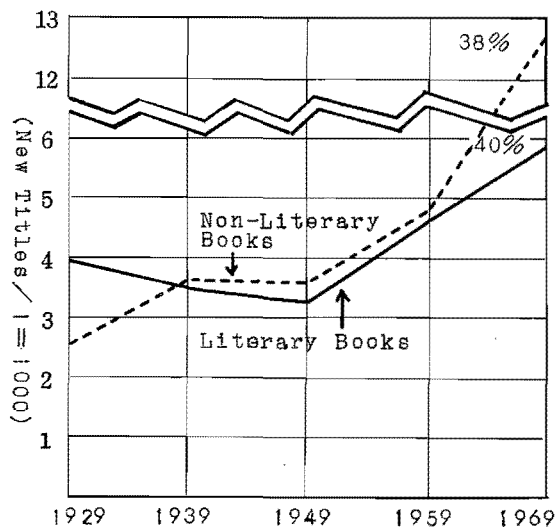
表Ⅲ MARKET SHARES



表Ⅳ SALES TRENDS



表Ⅴ MARKET GROWTH



由は、今大学生である人々がヤングアダルトになるわけですが、この大変な数の人達の質は10年から20年前の人々にくらべるとずっと良くなって来ています。もっと本を読む人達がふえてきていると言っていいでしょう。ヤングアダルトのグラフを見て下さい。50年から60年の間に2%、60年から70年の間に13%増加しています。70年から80年までには21%増加するでしょう。一般書の内訳は表Vです。今まで見て来たことを表III Market Share でみてみましょう。全書籍のマーケットを100とします。Reference Book は、1960年までは非常な成功を遂げました。各 encyclopedia の売れ行きは皆様もご記憶でしょう。そしてご存知のようにさがりつつあります。このカーブは部数と値段の両方を含めたものです。現在インフレですから20年か10年前10ドルであった本は現在は15ドルでしょうから、上ってもいいのではないのでしょうか。一般書は60%まで上るでしょう。ところでこれを表IV Sales Trends からみてみましょう。アメリカの教科書の値段は非常に高いですし、又割引が非常に小さいので売上げ高は、部数が下がっても全体が上る可能性（努力も含めて）があります。Reference Book はこれからもっと値段が上るでしょうから Net Sales は下降しないようにもっていけるでしょう。一般書は65年からの成長が引き続き上って行くでしょう。アメリカ全体の出版の Sales Trends はだから Total のようになります。

最近の動きを文化との関係から見てみましょう。Publishers Weekly や New York Times のベストセラーの欄をご覧になってお気づきでしょう。69年や70年初めはまさにセックス関係書がベストセラーの上位を占め続け

ました。最近では再び伝統的とか古くさいタイプといわれるような小説が再び脚光をあびています。アメリカは現在ベトナム戦争で疲れ切っており、国民全体が将来に対する希望を失なっています。こんな時人々は過去をふりかえって伝統や誇りをもとうとします。頂度ロマンティズムが戻って来始めたところです。Hemingway や Graham Green や Love Story や Zelda が売れました。過去への陶醉がすぎたら自発的創造を始めるでしょう。将来10年位の内に Mark Twain や Hemingway のような巨人がきっと現られるでしょう。経営書も又、然り、Peter Principle のような生産力増大の刺激的経営方針から人間性の回復を中心としたものが求められるようになって来ています。

（これは、去る8月19・20日、私学会館に於て開かれたオ一回日本ユニ・海外セミナーで赤石正氏が講演したものを、ハーバー東京事務所北村雅子が、その不完全なメモを元にはんの一部分をまとめたものです。この前にアメリカ出版界の歴史の話しがあり、この部分の直後、「アメリカ出版界の動向を外側からみる」として i) 経営的問題——合併・買収・資金繰り、株操作のむずかしさ ii) ドーナツ現象等にもみる人口の都市から郊外への移動によるマーケット再開拓 iii) ペーパー・バックの隆盛 iv) オーディオヴィジュアルを考える v) アメリカ出版協会の力、日常活動等の話しがありました。20日には、どうやって会社を運営していくか、経営、経済的問題、編集、広告など各論の詳細な講演がありました。赤石氏を招いた日本ユニエージェンシー編集部の手によって、他の多くのアメリカ出版界の状態も含めて近く一冊の本にまとめられるとのことです。是非一読をおすすめいたします。）

Herbert Lang & Cie, Bern

Münzgraben 2, Ecke Amthausgasse, Bern.

スイスには国際的に有名な、特色ある出版社が多い。Herbert Lang & Cie は、会社の規模や出版の量の点では、必ずしもスイスを代表するような出版社ではないが、近年とみに質の高い、異色の出版活動を行っている出版社として、ちょうど今年で創立50周年を迎えたことのお祝いを兼ねて、ご紹介したい。

同社の歴史は、1921年に創立者 Herbert Lang が、ベルンの町の由所ある本屋の経営を引き受け、店の名を Harbert Lang & Cie と改めたことから始まる。1946年頃までは店売りが主体であったが、戦後急速に書籍販売業者としての力をつけ、スイス図書、特に古書の輸出で知られるようになった。あるいは、わが国では古書店としての名声の方が高いかもしれない。

出版社としての活動を開始したのは、1940年頃からである。グレゴリアン聖歌の手写本のファクシミリ版 “Paléographie Musicale” や、Hans Bloesch 編の “Corpus Vasorum Antiquorum”、Werner Näf が始め現在は Ernst Walder が編集している “Quellen zur neueren Geschichte” などは、その中でも重要なものであろう。

アメリカの University Microfilms 社のヨーロッパ総代理店だった経験を生かして、同社はスイスの学位論文センターの管理を引受けており、“Europäischen Hochschulschriften” という名のもとに、優秀な学位論文を出版している。現在23シリーズ、200点以上の論文が世に出されている。

いわゆるリプリントも同社の出版活動の重要な位置を占めている。1912年～1941年の「スイス連邦裁判所判例集」や Johannes Dirauer の大著 “Die Geschichte der Schweizerischen Eidgenossenschaft” の複製は有名だ。ドイツ文学の古典的名著を集めた “Nachdrucke der deutschen Literatur and Germanistik” は現在40点ほど出ている。

そのほか、チューリッヒ大学の歴史ゼミナール論文集 “Geist und Werk der Zeiten”、ベルン大学観光事業研究所編の “Berner Studien zum Fremdenverkehr” のシリーズ。雑誌では “Schweizerische Versicherungszeitschrift”、“Ethnologische Zeitschrift Zürich” など、新しい部門での活動も盛んである。

ヨーロッパの古さと、国際的感覚をもつ新しさを兼ね備えたいかにもスイスらしい書店・出版社である。

才5回 洋書まつり

47年10月13日～15日にて会場の予約をいたしました。
(東京古書会館)

洋書まつりは洋書輸入協会主催、つまり協会員全体のものです。協会員全体がこの洋書まつりをどう見ているか、どの様にして参加しているか、どの様な意義を感じているかについてアンケートをとりたいと思います。来年は5周年記念です。協会員全体の業績発揚の意をのせて高く神田の空に洋書まつりの旗を揚げたいものです。

海外ニュース

「新しいマルチ・メディア出版社」

Scholarly Resources, Inc. という新しいマルチ・メディアの出版社が、1508 Pennsylvania Avenue, Wilmington, Delaware に設立された。この出版社は、学術書のオリジナルとリプリントを本の形式あるいはマイクロ形式で出すことになっている。

この新会社の社長には、Irish University Press の社長、Michael Glazier 氏が、副社長には、Microsurance Incorporated の創作者でフィラデルフィアの Rhistoric Publications の社長である T. Wistar Brown 氏が就任した。

同社はすでに、Phistoric Publications の資産全部と、Mellifont Press の資産の大半を買い取っている。

(Publishers' Weekly, 1971年11月22日号より)

「オセアナ社が法律出版社を買収」

法律書、政治学書の出版で知られる Oceana Publications が、法律書やカセットの出版社である Trial Lawyers Service Company を買収した。Oceana 社の社長 Philip F. Cohen 氏によれば、この出版社は All Media Publishing Company と改名し、従来の法律書や “Tape-of-the-Month” というカセットの出版を続けるが、更に間口をひろげて学生の訓練や研究の要求に応えることになっている。現在企画中のものには、刑法や国際法のカセット・シリーズや、19世紀英国議会文献のマイクロフィッシュ、ナショナル・レポーター・システム以前の米州判令集のマイクロフィルムなどがある模様。(Publishers' Weekly, 1971年11月22日号より)

ニュース

- 英国 MacDonal & Co. (Publishers) Ltd. の Export Promotions Manager, Mr. Patrick Speed 11月中旬来日。
- 米国 Appleton-Century-Crofts の International Department 担当 Director, Mr. David M. Blum 11月中旬来日。
- 仏国 Hachette 社の Mr. P. Messbauer 11月中旬来日。
- 米国 Regents Publishing Co., Division of Simon & Schuster, Inc. の Director, Mr. Julio Andujar 11月中旬来日。
- 英国 Macmillan and Company Ltd. の Export Manager, Mr. Adrian Soar 11月中旬来日。
- 英国 A B P (International) Ltd. の Overseas Marketing Director, Mr. John Spragg 12月上旬来日。
- 米国 McGraw-Hill International Book Division の General Manager, Mr. G. Stanley Kendrick 11月中旬来日。
- 米国 Addison-Wesley Publishing Co. の Senior Vice President, Mr. Peter H. Neumann 11月中旬来日。
- 米国 Marcel Dekker, Inc. の President, Mr. Marcel Dekker 11月下旬来日。
- オランダ Mouton Co. の Commercial Director, Mr. J. J. C. Van Der Wilk 11月下旬来日。
- 三洋出版貿易株式会社の新社屋が12月上旬完成。

新住所 東京都中央区日本橋茅場町 1-5-10 紅萌ビル

☎ 669-3761 (代)

東京税関、東京外郵出張所における本年7～9月の通関統計が発表されましたのでお知らせいたします。

通 関 統 計

(4捨5入)

	7～9月 1971		1月以降累計	
	件 数	金 額 単位千円	件 数	金 額 単位千円
総 数	3,343	2,248,139	10,557	7,681,930
ア メ リ カ	989	1,199,122	3,377	4,217,365
イ ギ リ ス	439	332,108	1,603	1,211,929
ド イ ツ (西)	381	282,066	1,271	960,376
“ (東)	83	18,033	241	55,624
フ ラ ン ス	260	82,738	795	296,456
イ タ リ ー	98	23,294	302	68,675
ス イ ス	187	77,779	534	212,115
オ ラ ン ダ	237	140,439	644	312,288
ソ 連	9	7,026	41	104,872
そ の 他	660	85,535	1,749	242,229

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。お手許の Agent List にご記入願います。

丸 善 株式会社 ☎ 272-7211
Arecci, F. T. and E. O. Schulz-DuBois (eds.) -
Laser Handbook. 2 Vols.
(North-Holland) ca ¥43,200

国際書房 ☎ 292-4951
Kaul, F. K.: Geschichte des Reichsgerichts.
4 Bände. (Detlev Auvermann)
Bd. 4 (既刊) ¥7,500
(毎年1巻ずつ刊行の予定。Bd. 1-3の価格未定)

会 員 の 横 顔

医学書院

野田 郁郎



われわれ昭和一桁の者が成長期によく歌われた歌の一つに「昭和の子だよ僕たちは」というのがある。それを歌いながら抱いた観念は、明治は老年であり、大正は壮年、そして自分等は飽迄も子供「時代の子」であった幼少期の教育のこわさを今にして思うのだが、四十を過ぎた今日にいたっても、なおこの「昭和の子」という規定から脱けられない気がする。いつまでも「おとな」には成りきれない中途半端な感じ、或はこれは、同じような戦争体験をしながらも自分達は遂に主役ではなかった、というところから来る「半端もの意識」がさせる業なのかも知れない。

何故こんな事にこだわるのかというと、ここに御紹介する野田さんがその「昭和の子」の筆頭で、昭和元年の生れと聞いたからである。12月26日生れとのことだから、まさに少数の「昭和原人」の一人と考えてよいだろう。小樽高商在学中、「特幹候」として仙台の予備士官学校に入隊したのが21年7月、8月終戦、9月帰郷、そして翌22年に卒業という慌しい半年の動きを伺うと、同じような境遇を過した「半端もの」には身につまされる思いがする。

24年医学書院の前身「日本医学雑誌株式会社」に入社。27年輸入業務開始と同時に洋書にたづさわったが、その後出版や総務を廻り、昨年から洋書部長となる。もともと出版関係の仕事に魅力を感じて入ったこの道だが、編集者として過した若い頃は相手が医者である為、編集会議も夜になるのが普通で殆ど余暇というものがなく、仕事に総てを注ぎこんで過されたらしい。「今になって何か、と思うのですが、まだ小唄をやるトシでもありませんし」と笑われるけれど、これも戦中派の悲哀(?)の一つでそれに恐らくは温厚で真面目な野田さん自身の性格のせいでもあるだろう。

協会での所属は総務委員会。御家族は奥様と二人の小学生のお子様がいる。

(自宅：千葉市朝日ヶ丘町2698-5)



ABRAMS

ARTBOOKS

大量入荷!

NORMAN ROCKWELL

by Buchener

特価 ¥18,000

GOYA GRAPHIC

by Ferrari ¥4,400

DALI

by Gerard ¥14,000

OCEANIC ART

by Schmitz ¥10,000

DE CHIRICO

by Rich ¥6,000

CHAGALL

by Meyer ¥12,000



THAMES & HUDSON

BOOKS

1月15日より取扱い開始—新刊多数取揃えました

GOYA: HIS LIFE AND WORK by Cassier ¥22,680

THE TWENTIETH CENTURY by Bullock ¥9,070

PHOTOGRAPHIC NATURE by Eisenstadt ¥6,000

METAPHYSICAL ART by Carra ¥2,270

FRANCIS BACON by Russel ¥5,350

RICHTER ON RICHTER by Gray ¥9,150

JANE'S WORLD RAILWAYS 1970-71

現在々庫しているものに限り、定価¥13,500を特価¥8,000
で販売しております。

日本販売総代理店

JOHAN 日本洋書販売配給株式会社

東京都新宿区西大久保4-170 千160 TEL 208-0181(代表)

昭和46年12月 通巻第56号 洋書輸入協会

編集者 寺久保一重

〒103 東京都中央区日本橋江戸橋1-15-5 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901

〒530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371-5329